

民間クリニックにおける効果的な HIV 即日検査の実施と質の向上のための研究

研究分担者 井戸田 一朗（しらかば診療所）
研究協力者 佐野貴子（神奈川県衛生研究所）
近藤真規子（神奈川県衛生研究所）
今井光信

研究要旨

民間クリニックにおける HIV 検査は、PICT と VCT の 2 つの modality がある。本分担研究では、HIV 検査実施のモデルとなる医療機関とのネットワークの（再）確立を目的に検討を行った。次年度より、ウェブサイト掲載基準の決定、既存の協力施設との連携、新規施設公募を実施する予定である。

A.研究目的

HIV 検査実施のモデルとなる医療機関とのネットワークの（再）確立

B.研究方法

既存の HIV 検査研究班で 2014 年までに確立された、41 箇所の HIV 即日検査を実施する民間クリニックとのネットワークは、2015 年 3 月に HIV 検査研究班の終了に伴い、喪失したものの、検査研究班ウェブサイト(<http://www.hivkensa.com>)には引き続き掲載されている。PICT 及び VCT のいずれかの手法による、HIV 検査実施のモデルとなる医療機関とのネットワークの再確立のあるべき手法を明らかにすることを目的に検討を行った。

(倫理面への配慮)

特に無し

C.研究結果

- 2017 年度も複数の医療機関から hivkensa.com への掲載を希望する問い合わせがあった。
- 多くが主に自費診療を提供する医療機関であり保険診療を提供する医療機関は限られていた。

- 既存の医療機関に対しては、a) 今後の掲載継続の希望有無 b) 掲載継続の場合、検査数及び陽性者数を 1 年毎に報告して頂くことを条件とする。
- 新規掲載を希望する医療機関に対しては、審査や参加基準をクリアに提示し、オープンなプロセスを経て審査を行う必要がある。
- 受検者からのクレームが入ったときの対応を決めておく必要がある。
- 各医療機関における HIV 検査は、即日検査にこだわらず、検査手法や検査料について、情報公開を目指す。
- 上記の流れをウェブサイト上でオープンにし、応募を期待する。
- 既存の 30 余施設に優先的にアプローチを行う。

D.考察

2018 年度より、

- 1) ウェブサイト掲載の基準を決定
- 2) 既存の協力施設への通達と意思確認
- 3) 新規施設の公募を実施するための検討を継続する必要がある。

E.結論

既存の HIV 検査研究班において確立された HIV 検査実施のモデルとなる医療機関とのネットワークの（再）確立を目的に検討を行った。次年度より、ウェブサイト掲載基準の決定、既存の協力施設との連携、新規施設公募を実施する予定である。

F.健康危険情報

無し

G.研究発表

無し

H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

無し

図1 月別受験者数と検査結果

月	定員 (人)	予約数 (人)	受験者数 (人)	HIV (+)	TPHA(+)	HBsAg(+)
5月	15	15	15	1	2	1
6月	20*	20	19		4	
7月	15	15	14		2	
8月	20*	20	19		4	1
9月	(会場の空きがないため休止)					
10月	15	15	12		1	1
11月	20*	20	16		4	
12月	15	15	11		2	
1月	15	15	14		2	
計(人)	135	135	120	1	21	3
(%)				(0.8%)	(17.5%)	(2.5%)

* 定員が20人の月は、6月・8月・11月であった。

図2 リピーターの年次推移、月別推移

(1) リピーターの推移(2016年度～2017年度)

月	回数	定員 (人)	受験者数 (人)	リピーター数 (人)	(%)
2016年度	12	183	153	36	(23.5%)
2017年度 1月まで	8	135	120	46	(38.3%)
計	20	318	273	81	(29.6%)

(2) 月別リピーターの推移(2017年度)

月	5月	6月	7月	8月	10月	11月	12月	1月	合計
受験者数	15	19	14	19	12	16	11	14	120
リピーター数	3	9	4	2	10	6	4	8	46
(%)	20.0%	47.4%	28.6%	10.5%	83.3%	37.5%	36.4%	57.1%	38.3%

* IDカードにより確認することができたリピーター数を示す。

図3 HIV受検歴

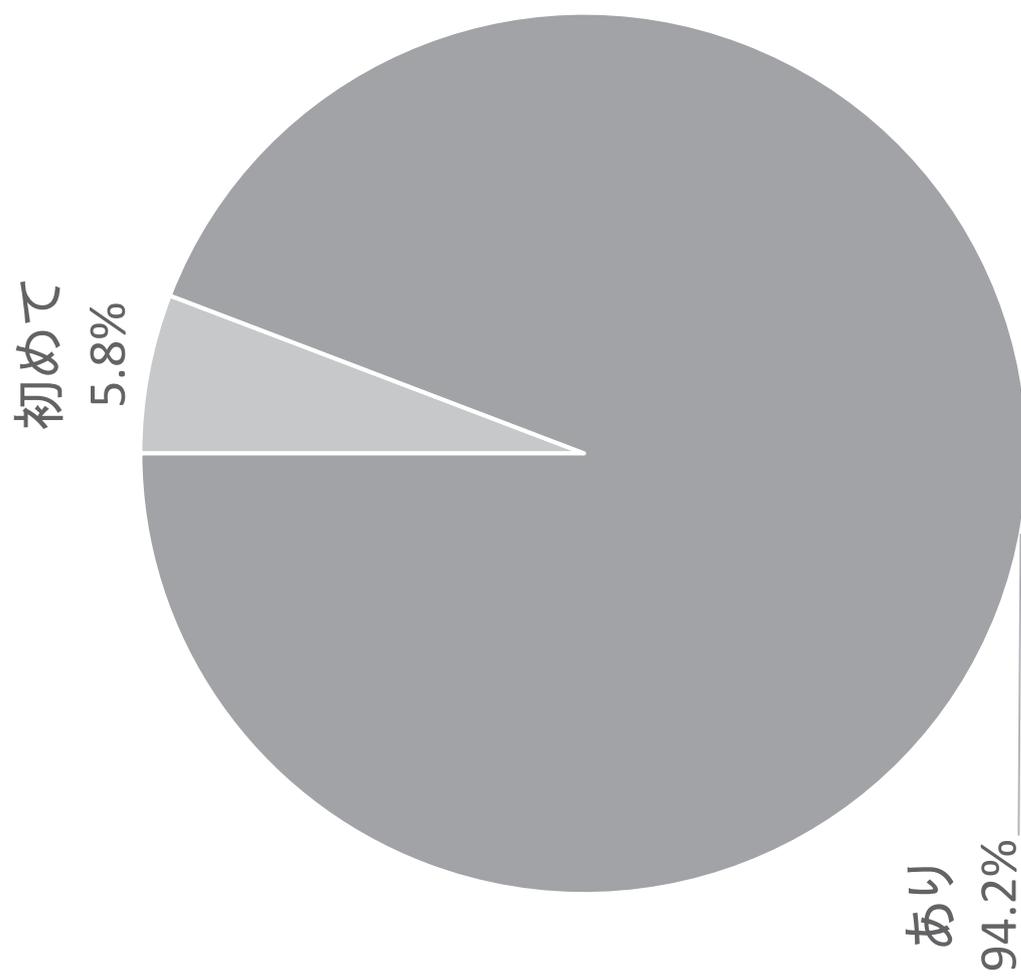


図4 前回の受検施設

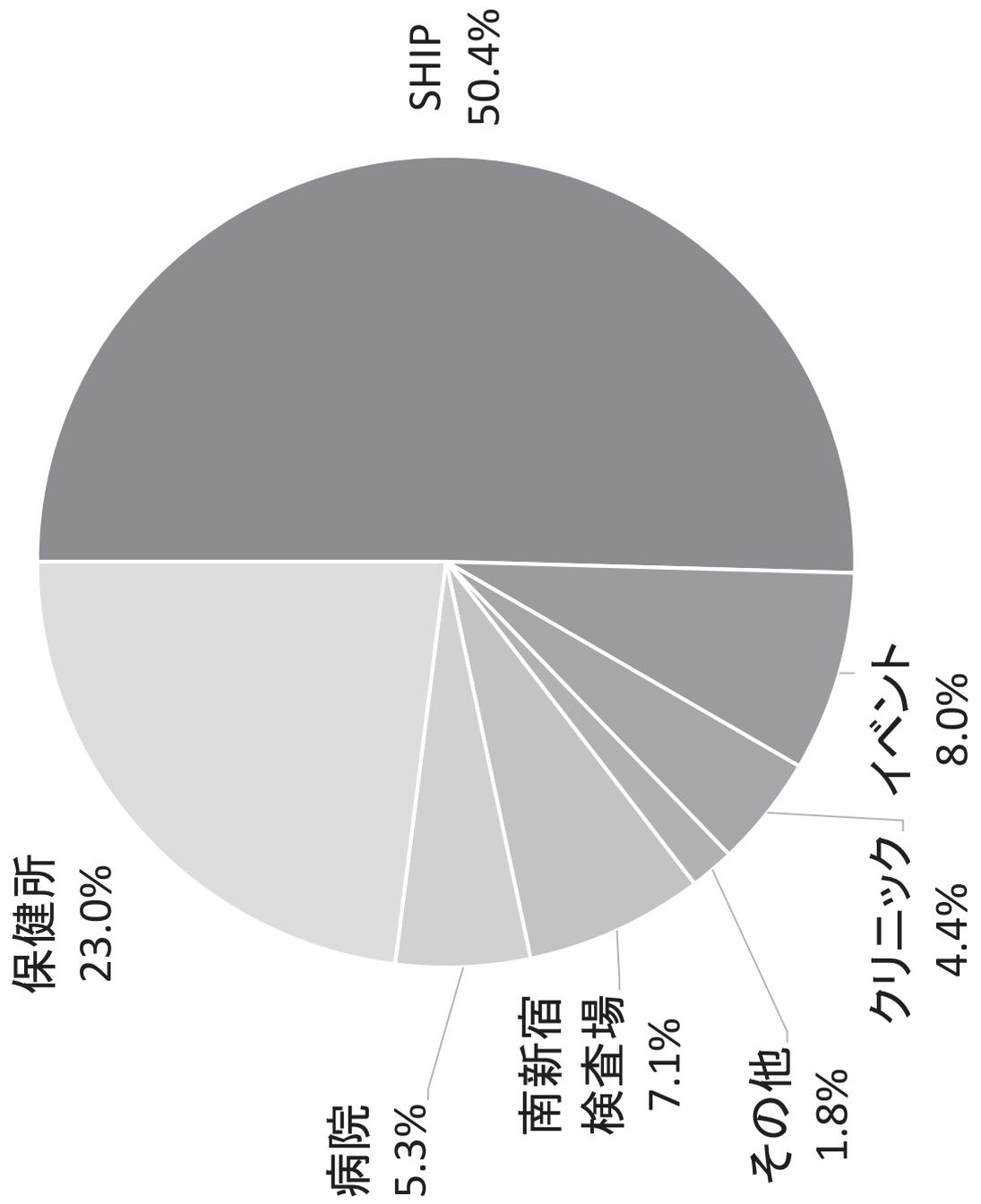


図5 年齢別構成

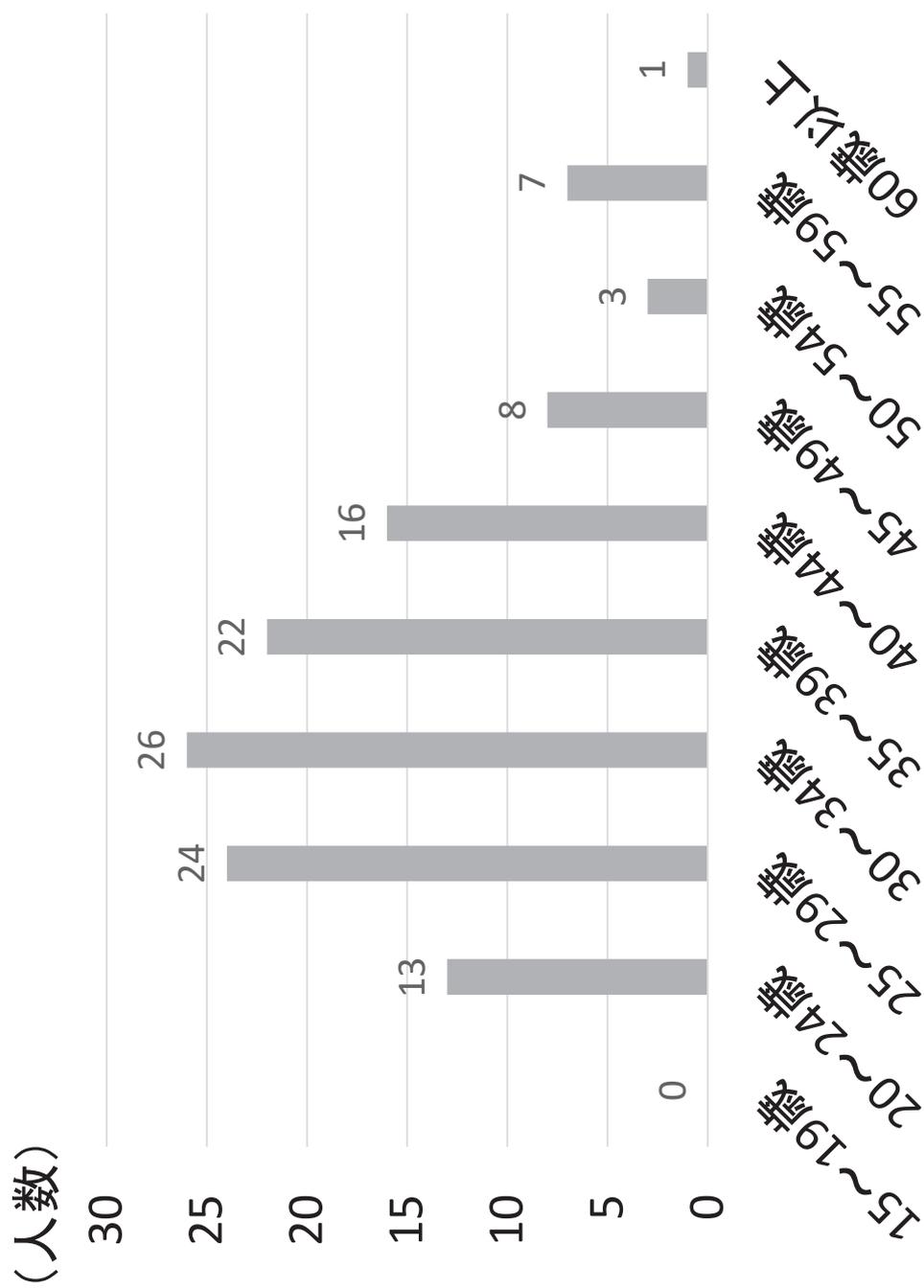


図6 居住地構成

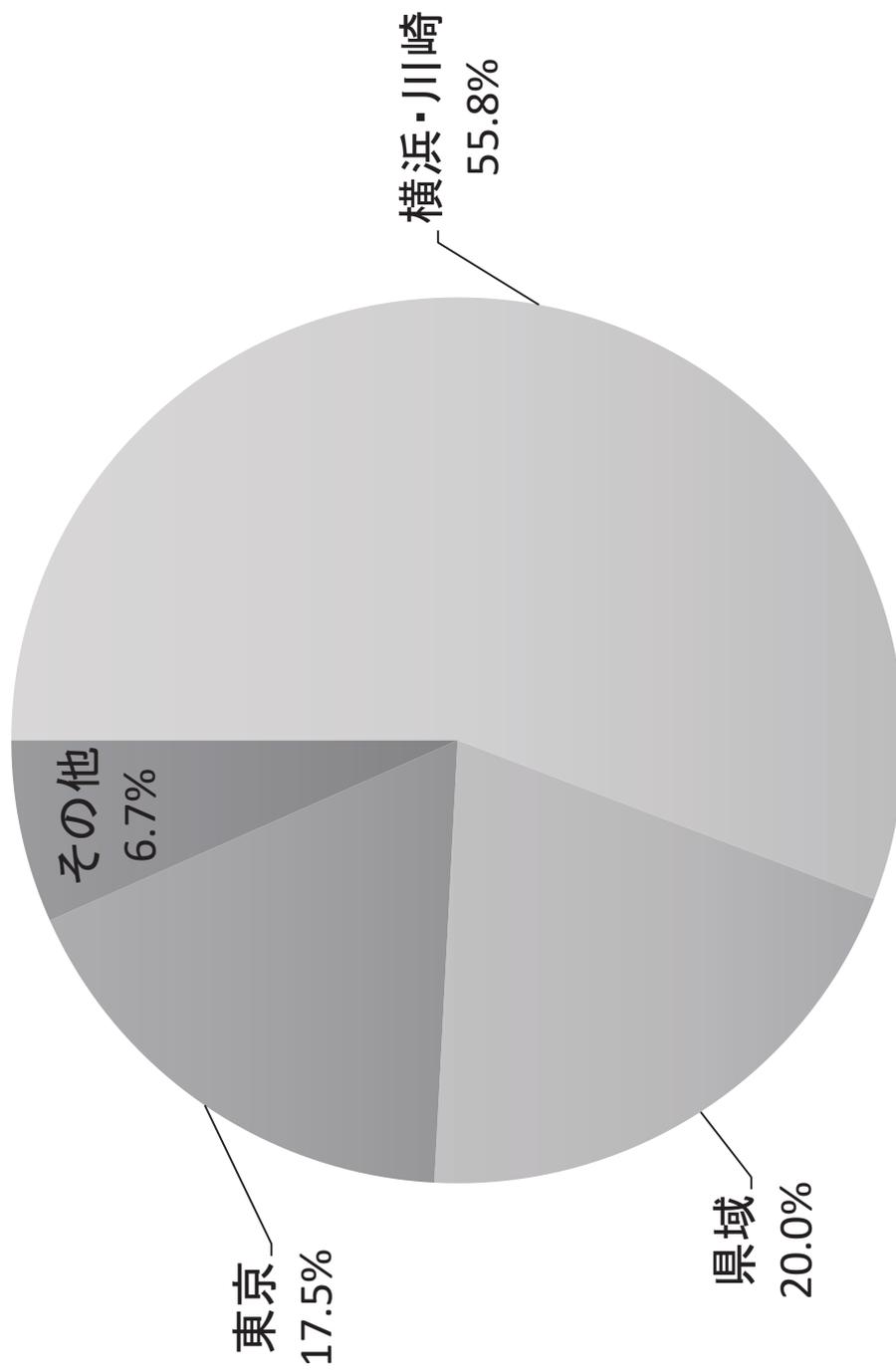


図7 MSM割合と受検動機

(1) MSM割合

	人数	(%)
MSM	113	94.2%
非MSM	0	0.0%
未記入	7	5.8%
計	100	100%

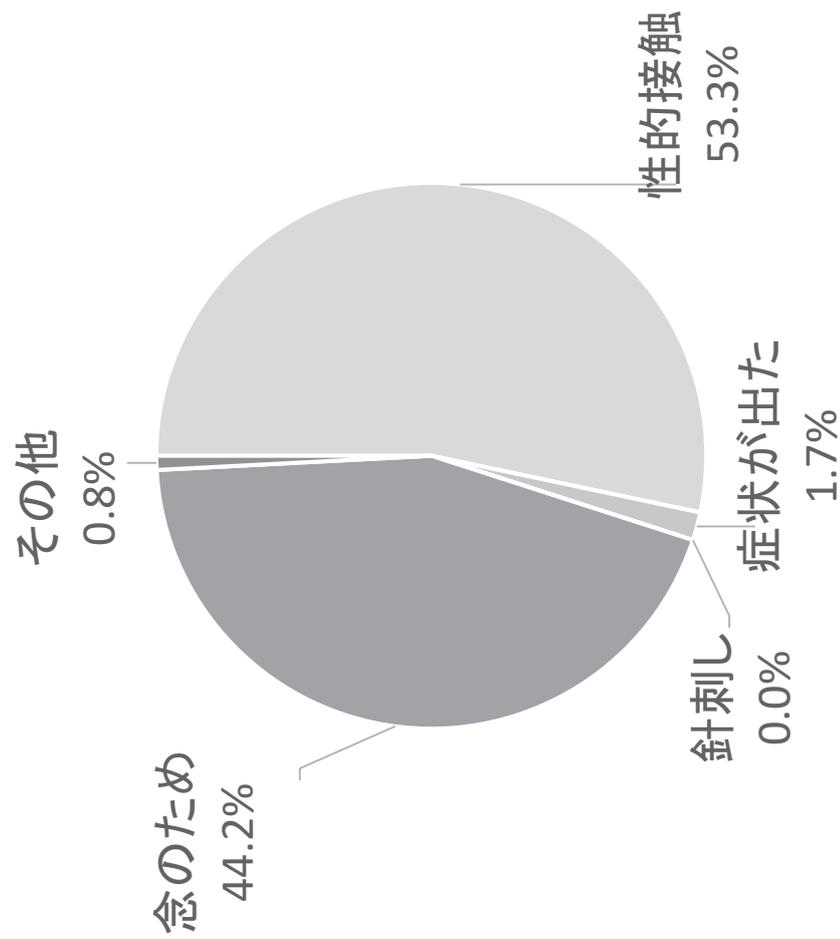


図8 気になる性的接触の相手との関係と コンドーム利用状況

(1) 気になる性的接触の相手との関係

いつもの相手	初めての相手	風俗業	未記入	合計
32 (26.7%)	71 (59.2%)	4 (3.3%)	13 (10.8%)	120(100%)

(2) 気になる性的接触のコンドーム利用状況

	しなかった	使った	使わなかった	未記入	合計
オーラル	6 (5.0%)	3 (2.5%)	99 (82.5%)	12 (10.0%)	120(100%)
アナル(ウケ)	54 (45.0%)	29 (24.2%)	21 (17.5%)	16 (13.3%)	120(100%)
アナル(タチ)	43 (35.8%)	40 (33.3%)	20 (16.7%)	17 (14.2%)	120(100%)

図9 当検査を選んだ理由（複数回答）

当検査場を選んだ理由 (回答者数 118人)

選んだ理由	人数	(%)
梅毒・B型肝炎も受けられるから	104	88.1%
直ぐに結果が分かるから	96	81.4%
場所が近いから	54	45.8%
ゲイ専用なので	46	39.0%
前に受けたから	36	30.5%
曜日と時間帯が受けやすい	34	28.8%
他の検査場が分からない	1	0.8%
WEB予約ができるから	0	0.0%

図10 満足度調査

(1) 役に立つ知識を得られましたか？ (回答者数 118人)

項目	人数	(%)
得られた	101	85.6%
得られなかった	2	1.7%
(空白)	15	12.7%

152

(2) 知人・友達にこのSTD検査をすすめたいと思いますか？ (回答者数 118人)

項目	人数	(%)
すすめる	68	57.6%
話してみたい	32	27.1%
わからない	14	11.9%
すでに受けている	2	1.7%
話す気はない	1	0.8%
(空白)	1	0.8%